

山北町第3次環境基本計画 概要版

計画の背景・目的

山北町は豊かな森林と水資源に恵まれています。人口減少と少子高齢化等に伴う森林及び農地の手入れが行き届いていないことや、町民の環境に配慮した行動・活動が十分とは言えないことに加え、近年の国際的課題である「気候変動」「生物多様性の損失」「汚染（大気・水質・土壌等）」に直面しています。

このような状況を踏まえ、持続可能な環境づくりを推進するため「山北町第3次環境基本計画」を策定しました。

本計画は町民、事業者、来訪者など全ての関係者が協働し、健康で快適な生活と水源地域にふさわしい環境を実現することを目的としています。

位置づけ、計画対象・期間

本計画は、山北町第6次総合計画と整合を図りつつ、環境分野の最上位計画として、関連する町の施策や官民連携の方向性を示します。

計画対象：山北町の全域
計画期間：令和7（2025）年度から
令和16（2034）年度

環境の範囲

本計画で扱う環境の範囲は、下表に示す4つの視点と自発的に環境に配慮した行動を起こす「行動変容」の視点を対象とします。

行動変容

一人ひとりが自発的に行動を変化させ、新たな習慣を形成すること



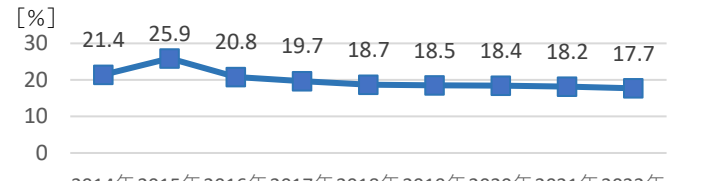
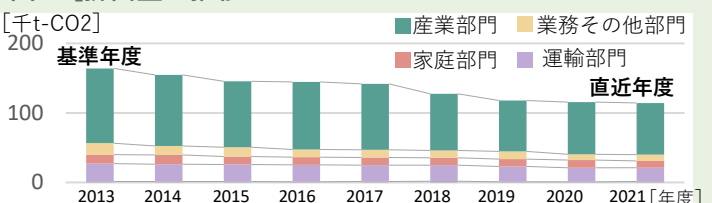
環境種別	概要
自然環境	生物多様性、森林・河川・湖沼・農地・公園緑地、自然景観、箒杉などの歴史的文化遺産の保全など
資源循環	ごみの発生抑制・資源化・適正処理など
気候変動	緩和策（省エネルギー、再生可能エネルギー）、適応策（熱中症対策）など
都市・生活環境	大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭、土壌汚染、まちの美化など

本計画策定のポイント

3つのポイント

- 進捗管理の仕組みを取り入れて計画的に運用する
- 第2次計画で取り扱っていない環境種別の視点も踏まえて取り組む
- 行動変容の視点を取り入れて官民連携により行動する

現状・課題

	現状	課題																				
行動変容	町と連携を取りながら、環境に配慮した活動や、学習の機会の提供を行う地域団体がいます。  地域団体と町職員での農作業  自治会と連携し、水源林の重要性を学ぶ機会を提供	環境活動への町民や町内事業者の高い関心に対応した取組みの不足																				
自然環境	- 農用地の減少や、森林に流出しやすい火山灰土壌がある。 - 町産材を活用した公共施設建設や、森林セラピー体験（森林浴）の開催に取り組んでいます。  町産材を95%活用した施設  森林セラピーロード	- 農地・森林や、野生生物の生息環境の改善が不足 - 地域材の有効利用への対応や事業者間連携が不足																				
資源循環	1人1日当たりのごみの排出量は県内で4番目に多く、近年リサイクル率は低下しています。 図 リサイクル率の推移 <table><caption>リサイクル率の推移 (%)</caption><tr><th>年度</th><th>2014</th><th>2015</th><th>2016</th><th>2017</th><th>2018</th><th>2019</th><th>2020</th><th>2021</th><th>2022</th></tr><tr><td>率</td><td>21.4</td><td>25.9</td><td>20.8</td><td>19.7</td><td>18.7</td><td>18.5</td><td>18.4</td><td>18.2</td><td>17.7</td></tr></table> 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年 出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査結果 令和4年度（ごみ処理状況）」	年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	率	21.4	25.9	20.8	19.7	18.7	18.5	18.4	18.2	17.7	ごみ排出量への対応、リサイクル率の減少
年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022													
率	21.4	25.9	20.8	19.7	18.7	18.5	18.4	18.2	17.7													
気候変動	平成25（2013）年度比のCO₂排出量削減率は、令和3（2021）年度時点で30%削減されています。 図 CO₂排出量の推移  出典：環境省（2024）「自治体排出量カルテ」	- 温室効果ガス排出量削減の達成（2013年度を基準に、2030年度までに46%削減）が必要 - 夏季の暑熱などの気候変動への対応が不足																				
都市・生活環境	- 河川・湖沼の水質は向上しています。 - 山北町の美化推進運動のほか、事業者の自主的な美化活動が行われています。  地域の自主的な清掃活動  丹沢湖でのSUPを使ったごみ拾い	- 環境汚染への継続的な対応が必要 - 地域関係者の自主的な美化活動の支援が不足																				

■環境像・目標・方針・町の施策

*SDG s マークは環境分野以外の施策が環境分野の施策にも関連することを示しています。

環境像	行動指針	環境種別		目標	方針	町の施策
自然と人が共に生きるまち	～楽しみながら一人ひとりが動き出す～	共通	①行動変容への対応	①-1自発的な行動、新たな習慣に向けた意識の醸成	情報共有・発信の強化 環境教育・学習の充実	■ 山北町の環境情報を町ホームページに集約する等、ワンストップで分かりやすく発信する ■ 地域の関係者も巻き込み、学校教育での環境・体験学習を充実させる ■ 町民・事業者等へ環境問題学習・環境活動参加の機会を提供する
				①-2立場を超えた共創の推進	交流・パートナーシップの強化 関係人口の環境活動への協力強化	■ 地域での環境活動を促進させる ■ 近隣市町村との相互連携により、広域的な環境活動を充実させる ■ 環境活動について事業者間で情報・意見交換する場の開催支援をする ■ 関係人口に協力してもらうための仕組み構築を検討する ■ 環境活動に参加したくなるような体験・情報を周知・提供する
		分野別	②自然環境への対応	②-1自然資源の維持・復元・創出	森林・河川・湖沼などの自然資源の維持・復元 生物多様性の保全 ふれあえる身近な自然の創出	■ 森林づくりを推進する ■ 自生種・絶滅危惧種の動植物の保護活動を検討する ■ 有害鳥獣被害防止対策を推進する ■ 町民・事業者が自ら緑化する取組みを支援する ■ まちなかに身近なみどり・水辺を創出する ■ 自然を生かした健康づくり活動を推進する
				②-2農林業の経済循環の推進	農林業の担い手確保、労働環境の改善 地域材・地域資源の利用促進	■ 農林業の作業環境向上に向けた支援をする ■ 農林業従事者の確保を支援する ■ 地産地消に向けた取組みを推進する ■ 町産材利用地域の活動や広域連携を支援する ■ 町有施設への町産材活用を検討する ■ 内水面漁業・養殖業の振興を図る
			③資源循環への対応	③循環型社会への移行促進	3Rの促進	■ 家庭ごみ・事業ごみの減量化とリサイクルによる再資源化を推進する ■ 庁内の省資源化を推進する ■ 事務用品等の再利用を推進する ■ 食品ロスの削減を推進する
			④気候変動への対応	④気候変動の影響への対応	再生可能エネルギーの導入と省エネルギー設備の充実 気候変動への適応策の充実	■ 環境への負荷の少ない自然エネルギーの導入を推進する ■ 町での省エネルギー化・スマート化を推進する ■ 町民・事業者の省エネルギー化・スマート化を支援する ■ 暑熱による健康被害の軽減
			⑤都市・生活環境への対応	⑤快適な生活環境の維持	環境汚染の防止 美化の推進	■ 河川・湖沼の水質基準の保持に努める ■ 観光ごみ等の適切な処分を促進する ■ 町内での清掃活動や不法投棄対策を推進する ■ みんなでごみ・不法投棄物を回収する仕組みを検討する

■計画推進を促す仕組み

短中期的に達成する目標とその実現に向けた戦略や具体の施策を打ち出す実行計画を作成します。これに基づく施策や本計画に位置づけられる目標値等の進捗状況を定期的に点検・評価し、その成果を定期的に取りまとめます。さらに、民間の方々の発意による提案を、町と民間の協議により事業化する仕組みを検討し、計画的な進捗管理を図ります。

計画推進を促す仕組み	実行計画の作成	官民連携のテーマに関する取組みを位置づけ
	点検・評価結果の取りまとめ、公表	目標値等の進捗状況を定期的に点検・評価
	民間提案を促す仕組みの検討	民間発意の提案を町との協議で事業化